

# 平成18年度 貧困地域における生活環境改善事業 完了報告詳細報告

(社)シャンティ国際ボランティア会

## 1. 目的、対象地域および背景

### 1-1 本事業の目的

タイにおける都市および農漁村地域の貧困状況改善のために、女性を中心とした活動を実施する。女性が担うことが多い職業である保育士もしくは希望対象者へ対する研修等を行い、保育士の質向上と労働環境の整備を行うことにより、母子等への生活環境の改善が期待できる。

### 1-2 対象地域及び裨益者数

#### ▶ 対象地

タイ国バンコク都バンケン区、バンスー区、ディンデーン区、ランシット区、ドーンムアン区、サイマイ区、チャトチャック区、ターク県ウンパン郡、チェンマイ県サムカンペーン郡、パンガー県クラブリー郡

#### ▶ 裨益者数

研修会 ー保育士及び希望参加者のべ247名、対象保育所児童数のべ2500名  
移動図書館活動 ー参加者数のべ3万5410名（公演回数287回）

### 1-3 本事業の背景

平成17年度の日本 NGO 支援無償資金協力を活用した成果として、おはなし研修会や実際のサービスの方法についての研修会を実施した地区では、絵本や保育等に対する関心が高まり、保育士自身の意識の向上につながっていることが確認されている。学んだことを保育士が即座に応用できる実践型の研修会は、参加者のアンケートを見ても大変好評であり、同様の研修会の開催要請が増えている状況である。このような実績やノウハウをもとに、貧困地区における地域女性への職場の適応と能力改善を図る。当会では未だに環境が整っていない新たな対象地へと活動を広げ、地方行政機関(Tambon Administrative Organization 以下、TAO)や保育所、地域住民の理解・協力を得て、本事業を実施してきた。

新たな対象地のひとつであるパンガー県クラブリー郡は、2004年のスマトラ沖地震による大津波の被災地であり、その多くが被災前から貧困地域であったため、その生活はより厳しい状況におかれている。当会は災害発生当初から緊急支援活動を始め、現在も復興支援として学校・保育園への移動図書館活動を中心とした教育面での支援を実施している。被災後約3年が経過したが、ほとんどの国際機関、NGO及び政府が撤退し社会の関心が薄れる中、地域の復興は思うように進んでいないのが現状である。

さらに、ターク県ウンパン郡も新たな対象地のひとつである。タイ・カレンと呼ばれる人々(タイ国籍を持つカレン族の人々)が人口の大部分を占める地域である。このカレン族はタイの少数民族の中で最大規模の人口を持つ民族である。ウンパン郡の課題は、就学前における公用語タイ語の獲得及びそれを担う幼児教育の施設及び保育士の質向上である。しかし現状は、TAOが保育士からのニーズに即した能力向上のための研修を提供できずにいる状態である。また、当

地区の保育士の大部分が中学校あるいは高校卒業後、現在の職業に就いており、専門的知識を持っているのはほんの一部である。

## 2. 事業実施状況

### 2-1 研修会の実施状況

	地域	参加人数	保育園数	実施日
1	チェンマイ県サンカンペン郡	65	30	2006年12月23-24日
2	バンコク都	64	30	2007年3月10日、5月19日
3	ターク県ウンパン郡	32	27	2007年6月6-8日
4	パンガー県クラブリ郡	86	37	2007年7月5-6日
	合計	247	124	

### 2-2 研修の主な内容

#### ① 実習「おはなしのテクニック」

- ・子どもたちにとって「おはなし」とは（楽しむことで感情・想像力が豊かになる）
- ・おはなしの種類紹介
- ・楽しいおはなしをするためのテクニック紹介
- ・実践

#### ② 実習「子どもとのレクリエーション活動」

- ・レクリエーションの重要性
- ・ゲーム及び歌の種類紹介
- ・子どもを楽しませるテクニック及び注意点紹介
- ・実践

#### ③ 実習「教材づくり実習(手作り絵本、エプロンシアター)」

- ・手作りの意味とは（大人が楽しむと子どもにも伝わる）
- ・いろいろな教材紹介
- ・手作り実践
- ・手作り教材を使いおはなしの実演

### 2-3 主な講師

#### ①おはなしのテクニック 及び ②レクリエーション活動

- ・ ソムサック・キアンディー(当会図書館事業スタッフ)

インドシナ難民キャンプ支援活動から20年以上に亘り、子どもたちへのおはなし活動を続けている。

#### ③手作り教材

- ・ チュティマー・ベンチャスック/アリッサー・ウパシー(当会図書館事業スタッフ)

日本の支援団体機関にて、幼児教育及び図書館研修を受けたスタッフ。

### 3. 事業の成果

#### 3-1 研修会の成果

- ・ 資格基準が未だ不明瞭である保育士としての専門性を意識し、スキル向上を目指すきっかけとなった。このことは保育士のエンパワーメントにつながると考えられる。
- ・ 実習が主体であることから参加者は楽しい雰囲気の中、意見交換を行った。同じ地域で働く保育士同士の交流の機会として価値は高く、個人ではなく地域で活動する集団としての意識が生まれた。
- ・ 研修参加者のいる保育所の中には、研修以降、幣会の移動図書館活動に理解を示し、実施前後の調整の際、地域の窓口となり積極的に動いてくれるところもでてきた。
- ・ 地域のTAOが研修に参加する保育士の反応を受け、的確なニーズ把握への模索を始めるようになった。また、子どもの変化に気付いた保護者が地域の中で読書推進のための発言をするようになった。このことから、地域の中で保育及び保育士に対する認識が高まったと考えることができる。

#### 3-2 研修終了直後の参加者の声

- ・ これまでに参加した研修会では講習が主であった。しかし、保育士にとって子どもたちにどう具体的に働きかけるかというのは最も関心の高い分野である。今回のように、実習で身に付いたものをすぐに日常業務に活かせるといったものこそ望んでいた研修である。
- ・ 研修前は、おはなしやレクリエーション活動などを行うためには、プロ並みの技術が必要になるので自分には不可能だと考えていた。しかし、講師が『子どもと楽しむことが大事』と言ってくれたのがきっかけに心が軽くなり積極的になれた。

#### 3-3 研修参加後の保育現場での感想

- ・ おはなし及びレクリエーション活動に自信がついた分、子どもたちに対して余裕を持って接することができるようになった。今後も定期的にスキルアップしていける場があればよいのだが。  
(ターク県ウンパン郡保育士)
- ・ 保育の中でおはなしを取り入れる頻度を増やしたところ、子どもたちが絵本に対して興味や反応を示すようになった。(パンガー県クラブリ郡)
- ・ 新しい教材であるエプロンシアターは、すぐぼろぼろになってしまったほど、子どもたちに好評で触って遊びたがる。この反応は新鮮でもっと色々なものを作っていきたいと考えている。  
(バンコク都保育士)

#### 3-4 TAO 及び地域住民の感想

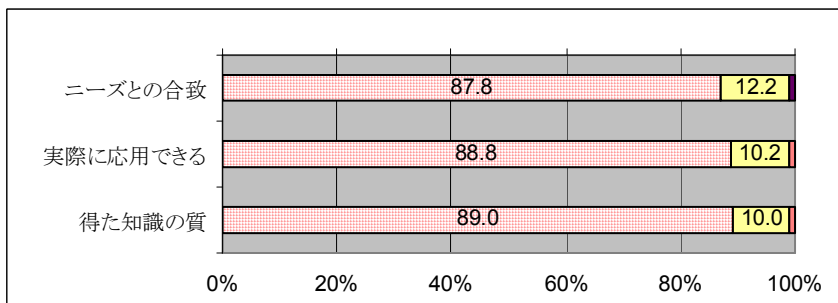
- ・ 今後の研修会実施計画にあたってよい参考となった。できれば協力を続けてほしい。  
(ターク県ウンパン郡 TAO 教育担当)
- ・ おはなしの活動に参加して子どもの様子が変わった。今では、絵本が大好きで家でもその話ばかりしている。ぜひ、地域の中に絵本のためのスペースを設けるべきだ。

(バンコク都保育所保護者)

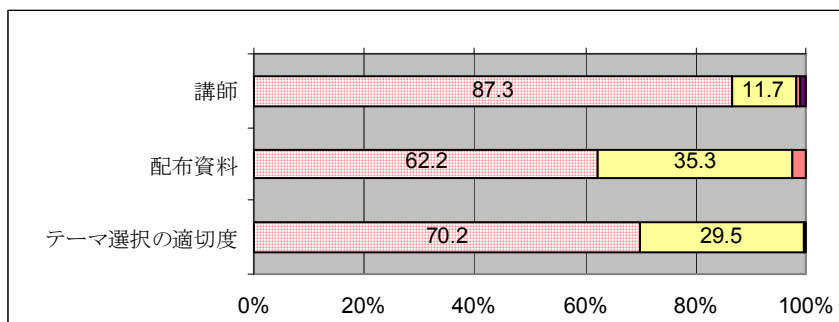
### 3-5 研修後のアンケート結果のまとめ（研修参加者 247 人中 169 人回答:添付ファイル1)

4-たいへん満足できる
  3-満足できる
  2-まあまあ満足できる
  1-改善すべき

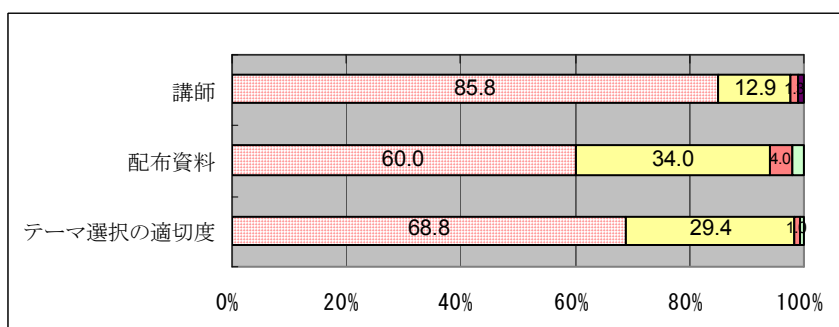
#### 1. 研修会の内容全般に関して



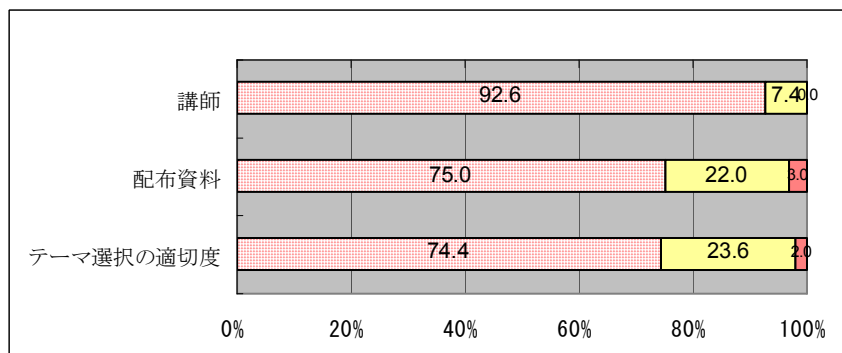
#### 2. 実習「おはなしのテクニック」に関して



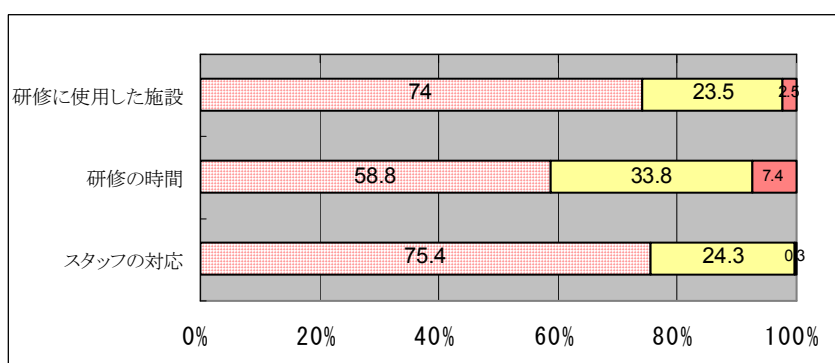
#### 3. 実習「レクリエーション活動」に関して



#### 4. 実習「教材づくり(手作り絵本・エプロンシアター)」に関して



#### 5. その他に関して



##### ➤ 感想・要望など

- ・うたの歌詞やゲームの遊び方の資料を配布してほしい。
- ・時間を増やしてレクリエーション活動の紹介をもっとしてほしい。
- ・歌は現代の子どもに合わせたものが必要ではないか。
- ・研修時間及び作成時間をもっと増やしてほしい。
- ・地域行政機関の役員にも参加してもらいたい。
- ・和やかな雰囲気、スタッフと打ち解けられた。

#### 4. 今後の課題

弊会の取上げているテーマでの研修会は、ニーズにより合致しているという点で好評を得たことがアンケート結果より考えられる。

今後の課題は、同地域の保育士たちが全体の総意として自分たちの要求を地区行政に訴える事ができるようになることが考えられる。また当会としては、これまでの経験及びノウハウをいかに行政と連携して提供することができるのかを検討していくことが必要だろう。